



関中学校だより

第5号 令和3年9月7日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

客観的事実と主観的事実 ～本質をつかむために～

校長 大澤 秀吉

おはようございます。緊急事態宣言がだされているなか2学期がはじまりました。感染防止対策や健康管理などをおこたらず学校生活すごしてください。

今日は、客観的事実と主観的事実について話をします。少し難しいかなと思ったら後で担任の先生と話をしてください。

いま目の前にコップがあるとイメージしてください。そのコップに大好きな飲み物を半分入れてもらいました。

今コップに飲み物が半分入っている。誰が見ても半分入っている、これが客観的事実です。

次に主観的事実です。例えば「飲み物を半分入れてもらってうれしい」、「飲み物を半分しか入れてくれない、嫌だな」などのように、ある事実や結果に対して人の感情や考えが含まれてしまうことです。

世の中の多くの悩み・不安・トラブルはこの主観的事実に基づいていることが多いのです。

考えてみましょう、飲み物を半分でもうれしいと考えた人が1人、嫌だったと考えた人が6人集まって、この飲み物の話をした場合、話の流れは嫌だったになります。うれしかったという考えは変！となってしまいます。逆の場合も同様に、うれしかった人が多い場合は、嫌だったという考えが変！になります。人それぞれ考え方が違うと受け止められれば良いのですが、変と言われた人は、自分の考え方が間違っているのか、自分は変わっているのかと悩んでしまいます。

また、主観的事実に基づく判断による悩みは、自分自身に問いかける時にも起こります。

あなたが、友人に「おはよう」とあいさつしたら、たまたまその友人は考え事をしていて気づかずに、あいさつを返さなかったとしましょう。

あいさつが返ってこなかったという客観的事実に対して、自分は嫌われているのかもしれない、友人は自分の事が嫌いだからあいさつを返さなかった。という主観的事実に代わってしまい。イライラしたり、落ち込んだりしてしまうことが多いのです。

そのような時は、是非、ひとりで考えずに家族や先生や友人など客観的に判断してくれる人と話をしてください。もやもやしたわだかまりや悩みが消えていきます。たくさん話をしてください。

【2学期始業式 校長講話より】

【エール・ウィーク】

関中学校では、9月1日（水）～9月11日（土）をエール・ウィークとして、生徒たちへの見守りを強化しています。生徒とのコミュニケーションや下校時の安全指導など全教職員で対応しています。

【関中生の活躍】

剣道部

第60回 東京都中学校総合体育大会剣道大会

兼 東京都中学校剣道選手権大会

7月10日（土）男子団体の部 優勝 全国大会、関東大会へ

7月17日（土）男子個人の部 優勝 3年 Tさん 全国大会へ

第三位 3年 Iさん

第五位 3年 Oさん

第46回 関東中学校剣道大会

8月8日（日）男子団体の部 第三位

第51回 全国中学校剣道大会

8月21日（土）男子団体の部 全国ベスト32

8月22日（日）男子個人の部 3年 Tさん 全国ベスト16

男子硬式テニス部

第47回東京都新人テニス選手権大会（個人の部）第3ブロック予選

8月23日（月）、8月24日（火）の予選会にて都大会出場枠獲得

男子シングルス 1年 Fさん

男子ダブルス 2年 Fさん 2年 Tさん

ウインドアンサンブル部

第61回東京都中学校吹奏楽コンクール

7月29日（木） 練馬文化会館大ホール B組 銀賞

水泳 3年 Sさん

第60回東京都総合体育大会

7月27日（火） 女子200m 背泳ぎ 第5位 記録2分23秒51

7月28日（水） 女子100m 背泳ぎ 第8位 記録1分7秒72